「ESD推進ネットワーク全国フォーラム2021: ESD for 2030のキックオフ~脱炭素社会づくりに向けたESD推進ネットワークの役割~」 オンライン 2021年12月11日(土)

- ◎13:30 セッション3 分科会ー「ESD for 2030学び合いプロジェクト」の挑戦ー
 - ① 脱炭素社会づくりとESD~気候変動教育と、拠点の学び合い~(北海道、近畿)

[進行]

[パネリスト]

久保田 学 (北海道地方ESD活動支援センター) 中澤 敦子 (近畿地方ESD活動支援センター)

高橋 敬子 (立教大学ESD研究所 特任研究員)

福岡真理子(一般社団法人あきた地球環境会議

吉田 美和 (京都市立紫明小学校 教諭)

南 哲朗 (奈良町資料館 館長)

[コーディネーター]

中澤 静男 (奈良教育大学 准教授)



理事•事務局長)







奈良町資料館 概要







◎施設名称

奈良町資料館(私設)

◎設立

1984年(昭和59年12月)

◎場所

ならまち 旧元興寺境内の金堂跡地

◎入館規模

コロナ禍前 MAX60名、現在30名

◎年間入館数

コロナ禍前 約9万人、 現在約2.3万人

◎館長

南 哲朗 1962年6月生まれ

◎館コンセプト

地域密着 まちの私設 博物館

(2) Q 分科会に参加して感じたこと・考えたこと? 5分



☑ A 職場体験で3つの目的と方向性が更に明確になった!

○奈良町資料館での世界遺産学習、職場体験 中学生の役割は?

来館者へ観光課題を調査~最終日地域住民、体験校の校長へプレゼン

ヒアリング~アンケート~集計~分析~考察~資料作成~終了発表会

「問の質を高める」

→アンケート用紙の問を 生徒自ら更新作成

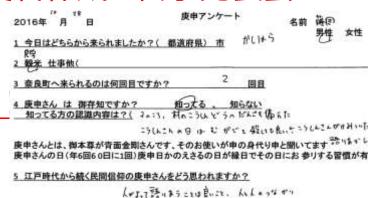
2 「生徒同士の学び合う場つくり」

→アンケート用紙の集計 **皆で実施する協業の大切さを体験**

3 「子どもに合った体験」

→本物の現場 = 資料館内で、来館者へ挨拶~アンケート依頼~

アンケート協力を自分から発信 コミュニケーションの大変さを体験!



館内での 職場体験

生徒による館内で来館者へのアンケート調査



- ●SDGs項目 4 質の高い教育
- ●題名「職場体験 お客さんへアンケート」
- ●目的 誇り、尊敬、語れる人へ
- ●効果 アンケート収集スキルズ習得



(3) Q 脱炭素社会の担い手に求められる資質・能力とは? 3分



A 資質:個人が持つ 協調性の差を認め合う

協調性!

能力:本物現場での体験を語る

現場を観て語る!

〇子供たちの職場体験学習を観察しての気づきは?

(求める 資質 としては?)

全員で(アンケート見直し、意見整合)子供同士の協調性アップ!

- →内容の充実、生徒間のレベルで見直し、関連づけてアンケート作成
- →館から1点 提案要望 生徒同士の打ち合わせのみで資料作成

(求める 能力 としては?)

→課題を発見 対応する力の習得

コンセプチュアルスキル

→計画~実行~チェック~アクション

PDCAスキル

→体感して考察し語る能力

プレゼンテーションスキル

Q 脱炭素社会の担い手に求められる 資質・能力はどのようにして養成されるか? 3分

- ▼ A 新学習指導要領 キーワード3点の育成手法が望まれる!
- ①見方、考え方の育成

「覚えるより考える授業を!」

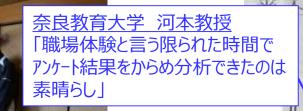
- →アンケート作成
 - 「自分たちで作成 観光客へ聞き取りアンケートで気づきを体験」
- ②社会に開かれた教育課程 「地元の課題を考察する!」
- →ならまちの課題発見 考察・まとめ
 - 「観光アンケート集計 課題を探す体験」
- ③主体的、対話的で深い学び 「生徒が発表する授業を!」
- →職場体験 終了後、集計~分析~発表資料作成
- 「地域住民、体験校の校長に対してプレゼンテーション体験」

奈教学生、地域住民、校長への中学生による職場体験

- ●SDGs項目 4 質の高い教育
- 職場体験 最終日プレセン 」
- 誇り、尊敬、語れる人へ 目的
- プレゼンスキルズ習得



中学生が社会人って 楽しそうと想像! 「集計~分析~発表」この3日で 充分社会人になれたよ!





アンケートの集計結果など報告する中学生-9日、 奈良市西新屋町の奈良町資料館

登美ケ丘北中生 職場体験発表

資料館 奈教大生も調査報告 電影内の音がのいわ

2016年11月9日 資料館内

登美北中学 榎本校長 「コミュニケーション能力 や分析、考察力が高められた

Q「元興寺(ならまち)を3つの必須要素から考えてみよう!



③市民の能動的な参加・協力





















- ●SDGs項目 4 質の高い教育
- ●題名 「ならまち昔人体験」
- ●目的 誇り、尊敬、語れる人へ
- ●効果 提案スキルズ習得



- ●SDGs項目 **10** 不平等の是正 15:森林保全 7:エネルギー 12:つくる責任
- ●題名「絵 看板 (時計屋)」
- ●目的 商店の職種判断
- ●効果 宗教、経済的地位平等



- ●SDGs項目 **11** まちづくり
- ●題名 「元興寺~ならまち」
- ●目的 住み続けられるまち
- ●効果 文化財の遺産保護





- ●SDGs項目7ェネルキー8働き継続
- ●題名 「手動ミシン」
- ●目的 縫物作成
- ●効果 エネルキー削減、持続使用可

1 2



- ●SDGs項目 12 生産と消費
- ●題名 「はな噴水」
- ●目的 水まきき
- ●効果 環境負担削減

1



- ●SDGs項目 16 平和と公正 10:不平等の是正 17:パートナーシップ
- ●題名 「庚申さん」
- ●目的 まちの平和
- ●効果 地域のまとまり

(5)Q 脱炭素社会の担い手を育成するため



<u>ESD推進ネットワークが果たす役割は?</u> 2分

(提案)

市民の育成を担うのがESD

職場体験、出前研修等が可能な地域の方へ

「世界遺産学習コーディネータ」を育成

ESDは社会づくりに関わる人々⇒価値観と行動変容を促す教育

(プロセス)

- 1地域の受け入れ側が持続可能な社会づくりに能動的参加
- 2世界遺産学習、職場体験、キャリア教育を大人が理解



「地域住民への ESD教育体制の充実化」

ならまちの飛鳥小学校で出前昔人体験! 令和2年

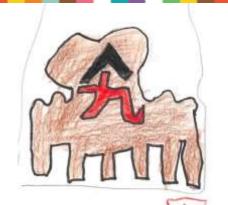




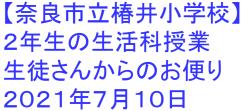
- ●SDGs項目 4 質の高い教育
- ●題名 「ならまち昔人体験」
- ●目的 誇り、尊敬、語れる人へ
- ●効果 ならまちを知り語れるように!













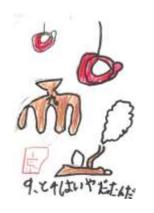
まどが

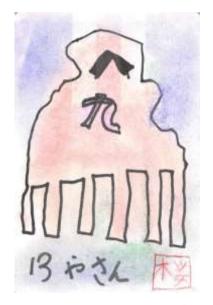


生徒が地域の文化を

絵画や文章として語り

とする!世界遺産学習











「緊張してた」

3 語る事が出来た、感じた、体感した

「人と関わることの素晴らしさ、伝わる喜び」生徒同士の学び合い



初日はとても緊張していて、なかなか積極的に話しかけられなかったが、2日からはだんだん関れていきました。 3日目にはお窓様の様子良り声もかけることができるおうになったので断わられることが無くなり、4日目は持に楽しかむた。

4 職場体験を通じて

この4日内を通して、社会に出たときが役に立ってとそたくさん教力りました。

「生きる上での土台になる」

どわまずお客様に頂きました。

Xモを取る、結、起、承の順で話す、アウンタケト、提響、いてても学校では習わない。これをは私が生きていくとで生台になっていて

5 社会人になったら、将来の夢

人と関わるということのすばらして、伝わったときの言び、そこから質問がかえってきたときのうれしさが

佐藤中に見をもってわかりました。M

がイドの仕事など、人と話をして、仕事が終われたさ相手に有益な情報を与えられる仕事がしたいとしていました。



職場体験終了書

【世界遺産学習】

奈良で学んだことに

「誇りを持ち、他人を尊敬し、自分の思いを語れる人に!」

貴方は本館で3日間の職場体験を修了したことを証明致します。 奈良町資料館館長南哲朗 2019年10月28日



奈良町資料館の信条は? 「誇り~尊敬~語る」を大切にする人へ!

誇り ほこり

尊敬 そんけい

語る かたる

「自分や故郷に誇りを持ち」 「文化遺産を残した先人を尊敬し」「自分で語れる人へ」







Q 奈良町資料館のSDGsコンセプトは? 体験学習!

「ならまちフィールドワークを通じて」



「世界遺産学習を体験し 又 自分でSDGsの

様々な課題のゴールを考察してみよう!」



プロフィール 想念:観光と教育の連携

奈良町資料館 館長 南 哲朗 (59)

◇ 私設 まちの博物館



- ·展示会、歷史体験、民芸品製作
- ◇ 奈良地域デザイン研究所 理事



- ・世界遺産学習、職場体験 全国庚申フォーラム開催
- **◇ ジョルテ セールスパートナー**



- ・学校「スマートカレンダー給食メニュー」
 奈良市、天理市、生駒市納入
- O トピックス

「奈良町資料館で学ぶSDGs」入館者8、190人

(奈良県大芸術祭、2021年10月1日~11月30日)









